

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

# 京都市立梅津北小学校

4月17日（木）、全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。本調査は、国語科・算数科・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間等を問う質問紙調査も実施されています。本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【国語科】

「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を上回る正答率でした。

しかし、「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を下回る正答率でした。

文章の要旨を把握することはとても難しいことですが、要旨をまとめる学習を繰り返し行いながら、文章全体を捉える練習を継続していきます。

【算数科】

「はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を上回る正答率でした。

しかし、「基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を下回る正答率でした。

自分の考えを伝える時には、式や言葉を使って説明し、それらを記述する練習を繰り返し行うようにしていきます。

【理科】

「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を上回る正答率でした。

しかし、「電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わるものの知識が身に付いているかどうかをみる問題」では、全国平均・京都府平均を下回る正答率でした。

実際に電磁石を自分で作り、巻き数によって強さが変わることを体験的に学ぶなどの機会を増やします。

【保護者の皆様へ】

全国学力学習状況調査は、子どもたちの学習の状況を知り、可能性をさらに伸ばしていくために実施されているものです。結果が学力の全てを表すものではなく、順位を競うものでもありません。今回の本校の結果をみると、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや支援の成果が表れているように感じます。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。

【児童質問紙調査】

◎自分には、よいところがありますか。

	①当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③どちらかといえば当てはまらない	④当てはまらない
梅津北小の割合	30.6	51.6	12.9	4.8
京都府の割合	47.2	38.9	9.3	4.6
全国の割合	47.3	39.6	9.1	3.9

本校では、①②と回答した児童の割合の合計が80%を越えています。一方で、③④と回答した児童が一定数いることも見逃してはいけません。自分のよさが感じられるよう、学校、家庭、地域で梅津北小学校の児童を支えています。

◎将来の夢や目標を持っていますか。

	①当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③どちらかといえば当てはまらない	④当てはまらない
梅津北小の割合	66.1	12.9	6.5	14.5
京都府の割合	61.0	21.1	10.6	7.2
全国の割合	60.7	22.4	10.3	6.6

本校では、①②と回答した児童の割合の合計が79%でした。一方で、④と回答した児童が1割以上いることは気にかかります。一人一人の将来の夢や目標を大切にし、なりたい自分に近づくことができるように、また、将来の夢や目標を見つけ、努力することができるように支援を続けていきます。

◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

	①当てはまる	②どちらかといえば当てはまる	③どちらかといえば当てはまらない	④当てはまらない
梅津北小の割合	29.0	53.2	14.5	3.2
京都府の割合	34.0	46.4	14.6	5.0
全国の割合	33.8	47.5	14.2	4.4

本校では、①②と回答した児童の割合の合計が80%を越えています。地域の行事に参加することを通して、地域への所属感を高め、誰かの役に立ちたいと思う気持ちを培うことは大切なことです。昨年度より総合的な学習の時間の中で、地域の方や関係施設の方と触れ合う機会を増やしています。多様な方々と触れ合うことを通して、自らの考え方や生き方を見つめなおし、人のためになることに力を注ぐことができるよう支えています。